



# 飯野 小学校だより

Iino Elementary School News

2021 (令和3) 年

3月24日

No.40

最終号

校長 原 裕

## ■ 明日は修了式

青空に、つぼみが弾けるように、桜が開花を始めました。朝晩の冷たい風にも臆することなく、咲こう、咲こうとする草花たちは、けなげで、ポジティブ。「春」の語源は、木の芽などが「張る」季節や、天気が「晴る」季節、田畑を「墾る」季節など諸説あります。

登校時、卒業生からバトンを渡された5年生が少し緊張した様子で通学団の先頭を勤め、目と目を合わせて、あいさつを交わしてくれます。1年間の成長を振り返り、4月からの新学年に希望を持つ、子どもたちの春の到来です。

明日の修了式では、新年の目標を振り返りつつ、一人ひとりのけなげで、ポジティブな努力をほめてあげたいと思います。子どもたちの今年の1年は、大人以上にがまんを強いられた1年です。そのような中、家族と元気に暮らせたことをまず喜びたいですね。そして子どもたちの日々のわずかな努力を認めてあげましょう。そのことが、4月からの生きる力になっていきます。



## ■ 卒業生106名の巣立ちの日

19日、令和2年度卒業証書授与式を挙行し、106名の卒業生は、校長から手渡された卒業証書を手に小学校を巣立ちました。

卒業生は、卒業証書を受け取る際、一人ひとりが、将来の夢や希望、家族や友人たちへの感謝の言葉を述べました。どの言葉も心の内の願いを感じます。元気に巣立った子どもたちですが、社会の中では、まだ保護されるべき子どもたちの時代は続きます。子どもたちの夢や希望や感謝の思いが、力尽きることなく、きっと花咲くようにしてあげたい。中学校、高校、その先の進路につなげていくための大きな責任は、私たち大人にあることを忘れてはなりません。

巣立ちの日は、保護者、教職員、地域の人々にとっても、思いを新たにす日となります。



卒業証書を手に、参列者から祝福の拍手を受ける卒業生

## ■ 子どもたちのために20年。飯田さん、ありがとう。



地子町で専業農家を営まれてきた飯田清治さん（80歳）は、20年以上にわたって飯野小学校における生活科や総合的な学習、理科の教材をボランティアとして提供していただけてきました。学校の畑での土作り、野菜栽培、ご自宅の田をお借りした



春。卒業生が5年生時の田植えの体験



(同学年) 秋。稲刈り後、わらを束ねて

稲作体験、モンシロチョウの羽化やアブラナ、ヘチマの観察など、ご自身の大事な時間をご支援に注いで下さいました。子どもたちの元気な笑顔が、ボランティアの原動力だといつもおしゃってくれた飯田さん。

この度、ご本人のご意向で、ボランテ



(同学年) ご家族が握った新米のおにぎりをいただきました。デザートのスイカも美味でした。

ィアを退くことになりましたので、長年月にわたる飯野小学校への貢献に対して、謝意をお伝えする機会を校内で設けさせていただきました。

3月某日、小学校職員室に飯田さんをお招きし、子どもたちが飯田さんに向けて書いた作文を担当が代読したり、学習時のエピソードを披露したりして、長年のご苦勞をねぎらい感謝の気持ちをお伝えしました。優しい声でお話をさせていただく飯田さんを子どもたちは大好きでした。いつまでもお元気でいてください。



(職員室で) 飯田さん、ありがとうございました。

飯田さんへ（低学年のメッセージより）  
ありがとうございます。お元気ですか。ぼくは、金曜日にしゅうかくした、こまつなをみそしるに入れました。スーパーに売っているこまつなよりやわらかくて、お母さんもびっくりしていました。  
飯田さん、本当にありがとうございました。



## ■ オリンピック聖火リレー、鈴鹿市で実施（4月7日11時より、鈴鹿青少年の森にて）詳しくは広報すずか等で。



◎ 学校だより、今年度最終です。ホームページでは、過去に発行したものを掲載しています。最後までお読みいただきありがとうございました。